

仙台育英学園 同窓会々々報

母校創立百周年を迎えて

仙台育英学園同窓会

会長 小坂 信雄



我が母校 学校法人仙台育英学園は創立者加藤利吉先生が明治三十八年に私塾「育英塾」を創立されてから、本年めでた

く百周年を迎えました。これは私共同窓生も喜びに堪えません。心からお祝い申し上げます。

しかし、母校百年の歩みを振り返って見ればその道は決して平坦ではな

同っております。

大正十一年私立仙台育英中学校として、設立認可をうけて開校され、以来順調に経営が行なわれ

苦境に陥った。加藤利吉先生は学園の再興を決意

昭和二十二年七月十日、米軍機の大群が仙台の上空に飛来して爆撃し、その戦火は母校校舎に及び灰燼と化し、そのうえ

先生が学校長に就任になられ学園の充実にご尽力を

昭和二十三年三月宮城野原校地に校舎を新築落成に漕ぎつけられたのです。

また、就職を志望する諸君には事業でご活躍の

学園は、昭和二十三年学制改革により仙台育英

ニック・アンサンブルと在校生のオーケストラの

発行所 仙台育英学園同窓会
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野二丁目4-1
TEL 022-256-4141
TEL 022-256-4141
編集 仙台育英学園
発行人 仙台同窓会
印刷所
備考トヨープリントセルス
TEL 022-225-8771

高等学校の設立認可により新築の校舎で新体制に移行いたしました。

方と、施設・設備の整った宮城野校舎、多賀城校舎の恵まれた教育環境のなかで勉学に励み毎年

七月十一日に県民会館に溢れるほどの同窓生と父兄、在校生、学園関係者が集い多大の感銘をうけて夏の夜のひとときを過ごすことができました。

十八年七月十一日(火)小雨降るなか宮城県民会館にて十八時三十分より

創立百周年記念
ニューヨークシムフォニック・アンサンブルとの
ジョイントコンサート開催

ニック・アンサンブルと在校生のオーケストラのジョイントコンサートを七月十一日に県民会館に溢れるほどの同窓生と父兄、在校生、学園関係者が集い多大の感銘をうけて夏の夜のひとときを過ごすことができました。

母校におかれては創立百周年の意義をふまえてニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルと

加藤 昭先生 新たな時代の学園の創造を期待申し上げる学校長、加藤雄彦先生をそしてこれまで学園を支えてこられた関係の方々、現職の教職員、諸先生方に衷心より感謝の意を表しあげお祝いの挨拶といたします。

曲目は、左記の通りです
◎演奏のためのアグージョ(バーバ)
◎レイエムニ短調より「ラクリモサ」(モーツァルト)
◎アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト)
◎交響曲第4番短調(モーツァルト)
◎交響詩「フィンランディア」(シベリウス)

◎オラトリオ「メサイヤ」より「ハレルヤ」
◎ニルンベルクのマイスタージンガー前奏曲(ワーグナー)

思い出し

秀光中等教育学校
仙台育英学園高等学校

校長 加藤 雄彦



葉月八月、仙台の街並みには人々が思い思いに一片の短冊に願いを込めて七夕飾りする季節となりました。

苦を昔の人たちはこのよるなかにして「生きろ」とされたように思います。仙台育英学園創立百周年の年、六万余の同窓生のみならず、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

先生は私邸には学校の先生たちがよく訪ねて来られた。同じ敷地に住んでいた幼い私に子供が喜ぶものをとお氣遣いくださいました。

なかには、線香花火をいっしょにしてくれた若い先生のこと鮮明に子供の記憶として甦ってきます。

あのころ、夕立があるとき、その行為の現象面だけ判断しがちで「頑張りなさい」とか、そんなことをいってはいないのだ、と

大人は、子供に對した恵まれていない人も努力せざるにはいられないのだ、と

しかし、人生においてある目的を達成していくには、子供の成長の可能性を信じて子供の持つ能力のすべてを尽くして打ち込みようなプログラム、頭を使い、身を勞して心こめて学習する場の提供が必要なのでしょう。

仙台育英学園がそれのようなプログラムが実践でき、生徒が自ら努力できるような最適な場であるよう

些か昭和の我が幼き頃を回顧しましたが、同窓生皆様のご健勝と変わらぬご支援をお願いして、ペンを握ります。

事務局長より
同窓諸兄弟の皆様ご存知の通り、昨年五月二十二日の交通事故で生徒三名が夢途中で亡くなられ、多数の生徒が怪我を負いました。同窓会として後輩たちのために支援を行いたいと考えて、体育着を全一年生に贈呈することにいたしました。その費用は、会報発行費を充てることにいたしました。昨年度会報を発行したため、昨年度会報を後継となりましたが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

事務局長より
同窓諸兄弟の皆様ご存知の通り、昨年五月二十二日の交通事故で生徒三名が夢途中で亡くなられ、多数の生徒が怪我を負いました。同窓会として後輩たちのために支援を行いたいと考えて、体育着を全一年生に贈呈することにいたしました。その費用は、会報発行費を充てることにいたしました。昨年度会報を発行したため、昨年度会報を後継となりませんが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

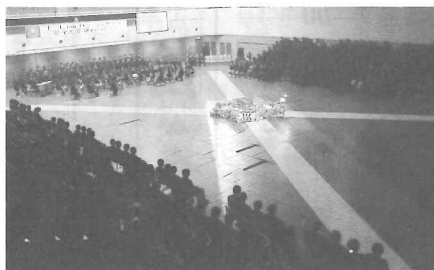
平成18年 5月22日

I-Lion Day

この日一日の様子を紹介します。

安全な社会と平和で人々が 穏やかに生活できる安寧な 環境を求めて

平成18年5月22日、私達にとって決して忘れることのできないあの痛ましい事故からちょうど1年の月日がたちました。私達はこの日を「I-Lion Day」と定めさまざまな行事を実施しました。あの事故で亡くなられた3人への追悼の思いと私達が安心して過ごせる安寧な環境への願いを込めて...



安全と安寧のつどい

平成18年 5月22日 午前10時

場所：多賀城校舎グロリーホール
主催：生徒会
参加者：第二学年生徒 (特別進学/外国語/英進学/コース/保護者/教職員関係者)

「生徒会は、「I-Lion Day」にちなみ、私たちの社会が、安らかで、平和で、穏やかに過ごせることを願っておさめることを願う」と、安全と安寧（あ

委員長のことは、生徒代表四名による「5・22宣言」、生徒の「こころ」の数々の前後には、秀光中等教育学校オーケストラと合唱による「I-Lion Day」の美しい音楽が響き渡りました。

生徒代表四名による「5・22宣言」、生徒の「こころ」の数々の前後には、秀光中等教育学校オーケストラと合唱による「I-Lion Day」の美しい音楽が響き渡りました。

夢の途中

たくさんの恵みを与えてくれたのでいつまでも感謝しよう
明るい微笑みは美しく素敵なのでいつまでも覚えていよう
強い志はわたしたちの希望なのでいつまでも尊敬しよう

君の旅立ち それはあまりにも悲しすぎる
それは君の笑顔を見ることができないから
それは君の弾くピアノの音を聴けないから
それは君の大きな夢を語り合えないから

青空にぼっかり浮かぶ雲
それは君からの笑ってねというメッセージ
太陽のひかり輝く光線
それは君からのがんばってねというメール
大地に咲く可愛らしい花
それは君からのやさしくねという絵葉書

2005年 5月22日



2005年5月22日、仙台育英学園多賀城校舎グロリーホールにて行われた「安全と安寧のつどい」の様子が写っています。

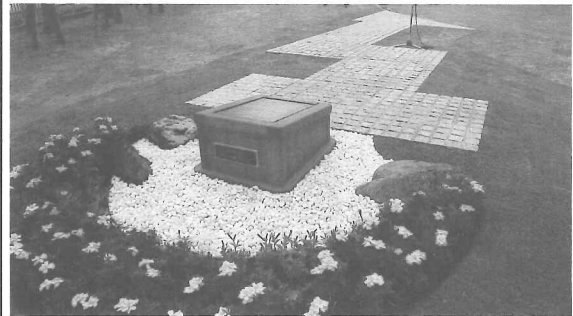
飲酒運転根絶県民大会

平成18年 5月22日 午後3時

場所：宮城県警察本部 前駐車場
参加者：仙台育英学園関係者(約100名) プラスパンド/チャアガル/獅子太鼓 含む

この作文は、昨年五月二十一日の事故を目の当たりにして「自動車の安全の防止について考える」というテーマについて考えたもの。タイトルは、「三人の友達の名を未来に生かすために自動車の安全の防止について考える」で、日本損害保険協会の高校生「くらしの安全・くらしの安心」作文コンクールにおいて最高賞の文部科学大臣奨励賞を受賞しました。(左の写真は壇上で作文を読み上げる木村くん)

県警本部前での大会終了後、本校生徒は大会参加の各団体関係者と一緒に「飲酒運転根絶県民大会パレード」に出発。パレードには本校プラスパンド、チャアガル、仙台育英獅子太鼓の部員達も参加しました。



メモリアルストーン除幕式

平成18年 5月22日 午前8時

場所：多賀城校舎グロリーホール前
参加者：多賀城校舎職員
午前八時、仙台育英学園多賀城校舎職員一同が見守る中で、「メモリアルストーン」の除幕式が行われました。

メモリアルストーンは、あの事故によって私達の心にはっきりとあいた穴を少しでも埋めることができればと思うので「I-Lion Day」にちなみ、私たちの社会が、安らかで、平和で、穏やかに過ごせることを願う」と、安全と安寧（あ

平成18年度 第53回宮城県高等学校総合体育大会 戦績報告

<p>優勝 卓球 (男子) 少林寺拳法 ライフル射撃 (女子)</p> <p>優勝 卓球 (男子) レスリング ラグビー ※秀光中等教育学校 卓球 (女子)</p> <p>準優勝 柔道 (男子) ボクシング サッカー ライフル射撃 (男子) 硬式野球</p> <p>第三位 フェンシング パレー (女子) 陸上 (女子)</p>	<p>優勝 卓球 (男子) 少林寺拳法 ライフル射撃 (女子)</p> <p>優勝 卓球 (男子) レスリング ラグビー ※秀光中等教育学校 卓球 (女子)</p> <p>準優勝 柔道 (男子) ボクシング サッカー ライフル射撃 (男子) 硬式野球</p> <p>第三位 フェンシング パレー (女子) 陸上 (女子)</p>	<p>優勝 卓球 (男子) 少林寺拳法 ライフル射撃 (女子)</p> <p>優勝 卓球 (男子) レスリング ラグビー ※秀光中等教育学校 卓球 (女子)</p> <p>準優勝 柔道 (男子) ボクシング サッカー ライフル射撃 (男子) 硬式野球</p> <p>第三位 フェンシング パレー (女子) 陸上 (女子)</p>	<p>優勝 卓球 (男子) 少林寺拳法 ライフル射撃 (女子)</p> <p>優勝 卓球 (男子) レスリング ラグビー ※秀光中等教育学校 卓球 (女子)</p> <p>準優勝 柔道 (男子) ボクシング サッカー ライフル射撃 (男子) 硬式野球</p> <p>第三位 フェンシング パレー (女子) 陸上 (女子)</p>
--	--	--	--

東京支部

設立二十五周年について



東京支部長 門屋 登 (昭42晋卒)

(まえがき)

仙台育英学園同窓会報第五十号発行と言う節目に当り、本学園の飛躍発展と共に、第一号以来五十年という長い年月を歩み続けて来たことに歴史的な重みを感じます。

この機会に『東京支部設立二十五周年記念同窓会総会』(平成十六年十一月二十日開催)を中心に、東京支部が設立した経緯や現在の同窓会活動を含めて、同窓会員の皆様方にご案内申し上げます。

『東京支部設立二十五周年について』

(設立経緯)

本学園同窓会東京支部が正式に設立され、同窓会総会が開催されたのは、昭和五十三年十一月、新宿区歌舞伎町レストラン「パブ・ブランチ」で、仙台からのご来賓を含めて総数二十名前後が集まり開催されたと同っておりです。その数年前から当時の加藤 昭校長先生から継続したご指導を受け、都内の中央区や台東区などの企業に就職した昭和三十二年以降三十八年位までの育英商業高校卒業生の有志を中心に、プロ選手を何人も輩出し

たボクシング部OBなども加わり、初代支部長を齋藤宇右門氏(昭和八年旧制中学卒)が務め発会式を兼ねて行われました。

(二十五周年記念同窓会総会について)

平成十六年十一月二十日(土)千代田区九段北四丁目、J R市谷駅南口の「アルカディア市ヶ谷」阿蘇の間に於いて盛大に開催しました。十二時に開会し十五時に終了すると言う、長丁場の同窓会総会にも拘らず、終了間際の校歌斉唱では出席者全員が万感迫る思いで母校を思い、同級生の元気を姿を再確認、生まれ故郷を振り返り、且つ再会を期す気持ちと、高揚した気持ちが重なると、高揚した気持ちが重なり合う複雑な気持ちが交ざり合うのは、高校の同窓会の特色と強く認識しております。

当日は総数七十余名が出席、遠路仙台からはご来賓として、加藤 昭学園長兼理事長先生を始め、小坂同窓会会長や本部役員、本学園卒業の先生方など多数ご出席され、晴天の日の紅葉が映えるお濠を見下ろす絶好のコンディションの中、会場に勢揃いしたことは記憶に新しい。

首都圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)を中心に、茨城県・群馬県・栃木県・静岡県などの一部に居住している、女性会員も含めた約八百

名の会員名簿(厳重に保管管理)より、約四百名の会員に対して案内状を発送した中から、支部会員は六十数名が出席されました。

第一部を総会、第二部に国井義弘様(昭和二十二年新制高卒)ご夫妻によるミニコンサート、第三部を懇親会に分けて行いました。厳肅な雰囲気の中で第一部が終了し、第二部のイベントとして、国井様のヴァイオリンと奥様のピアノによる、クラシックの名曲の数々を拝聴する機会に恵まれ、イギリスのエルガ作品「愛の挨拶」に始まり、数曲の演奏後、アンコール曲は宮城県民謡の「さんざん時雨」国井義弘作曲で締め切りましたが、曲の終わる頃から支部会員からの感動の拍手が鳴りやまず、故郷宮城県を想う気持ちは、卒業年次を問わず変わりない無二のことを痛切に感じた次第です。

尚、国井義弘様は、平成十五年度江戸川区文化功績賞受賞者であり、今回の記念同窓会総会への演奏要請にも嫌な顔をせず、「ご夫妻共に喜んで演奏したい」と改めまして、一回に分けた記念写真撮影後の第三部は、懇親会になりました。加藤 昭学園長兼理事長先生に、設立当初からの多大なご指導とご厚情、ご支援の賜物と、ささやかな御礼の意味を込めて、東

京支部からフランススポーツ産の二十五年物赤ワインを贈呈することが出来たのは望外の喜びである。先生には、これからも益々ご健康で引き続き東京支部に対してのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

「東京支部設立二十五周年記念誌」を企画したことは、東京支部設立後の節目の年を飾るに相応しい大きなエポックメーキングと考えております。極力製本コストを抑え、素人だけの編集と打印でしたが、結果は満足出来る内容と感じております。

尚、加藤 昭学園長兼理事長先生は、業務多忙にも拘らず、初面を飾る「挨拶」の執筆を快くお寄せ頂いたことに対し感謝の意を述べます。(あとがき)

現在の幹事による新体制になり、二年目に入り「中期五年計画」の二年目と位置づけ、本部事務局や本部役員の協力を仰ぎながら、東京支部としての座標軸をしっかりと持ち、微力ながらも今後、継続して活動して参る所存です。

数年前には東京支部旗の贈呈を始め、永年にわたって物心両面から、ご支援とご厚情を頂いてきた学校関係者、本部事務局や本部同窓会に対し、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。又、東京支部の会員の皆様方には、年に一度の同窓会総会であり、仙台からは加藤 昭学園長兼理事長先生を始め、本学園卒業の先生方、本部同窓会の役員も多数出席する一大イベントであり、本学園の現在の活動ぶりやスポーツ各部の活躍なども直接拝聴出来るいい機会です。それにも増して、同級生や部活などの先輩後輩など、懐かしい顔ぶれに出会える機会と見做しております。本年度は、十一月十一日(土)に決定いたしました。紙面の都合で、東京支部幹事諸兄のメンバーの紹介が出来なくなりましたが、本年度の同窓会総会の席で改めてご紹介させて頂きます。

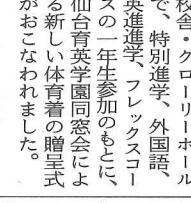
本学園の更なる繁栄・発展と共に、同窓会会員の皆様方のご健康を心から祈り申し上げます。東京支部長のご挨拶とさせていただきます。

仙台育英学園同窓会 体育着贈呈式

平成十七年八月二十五日(木) 多賀城校舎 グローリーホール

八月二十五日、多賀城校舎・グローリーホールで、特別進学、外国語、英進進学、フレックスコースの一年生参加のもとに、仙台育英学園同窓会による新しい体育着の贈呈式がおこなわれました。

今回の新体育着の件も、私たち一年生のご考慮として、私たちが、すぐく嬉しかったです。正直な話、あの事故を忘れる事はできません。間近で見ても悲しむ事もありましたが、忘れざる時もありましたが、忘れざるという事が、亡くなった三入さんに対して私ができる精一杯の事だと思えました。様々な心遣いがありありがとうございます。



英進進学コース

五月二十二日の事故からすでに三か月もたつた。事故当初は、同じ学年の仲間が三人も亡くなったために動揺していましたが、時が経つにつれて徐々に心も落ち着いてきました。事故当日に着ていた体育着は、あの事故を思い出してしまうからと、しばらくの間各自の体育着で運動しておりました。

本日、仙台育英学園同窓会の方々の厚意により、心待ちにしていた新しい体育着をいただきました。私を含めた仙台育英生は、たくさん先の先輩方には、たくさんの先方ありがとうございました。

しかし、最近はそのう事はなくなくなりました。今後はそのような事故が二度と起きることがないように願っています。そして、亡くなった三人をいっつもでも忘れずにいようと心に誓いました。最後に、事故を思い出し

見守られているのだという言葉を改めて気付かされました。

今回いただいた心ある体育着を励みに、これから先は亡くなった三人からは新しい気持ちで頑張っていこうと思っております。

フレックスコース

この度は新体育着をいただき本当にありがとうございます。私達は、亡くなった三人の人の事はよくわかりませんが、同じ学校に通う生徒として他人事とは決して思われません。亡くなった三人の事、そして事故の事を忘れたいためにも、この体育着を大切にしたいと思っております。

特別進学コース

五月二十二日の事故から早くも三か月が過ぎました。怪我で入院していた人たちも徐々に回復し

外国語コース

私は事故現場を見て以来、その場面が時々ふつと脳裏に浮かんでくるように思っています。思ひ出は出てくると、これからはと続くのかなと思ってしまう。

フレックスコース

この度は新体育着をいただき本当にありがとうございます。私達は、亡くなった三人の人の事はよくわかりませんが、同じ学校に通う生徒として他人事とは決して思われません。亡くなった三人の事、そして事故の事を忘れたいためにも、この体育着を大切にしたいと思っております。

思い出してしまう、体育の授業を受けられなかったと聞いています。

今日、多賀城校舎で事故が起きた事を知らされた私たちは、あまり実感がなく最初は軽い事故だと思っていました。しかし、家に着きニュースを見た時、改めて事故の深刻さが見えてきました。私には、亡くなった三人の人の事はよくわかりませんが、同じ学校に通う生徒として他人事とは決して思われません。亡くなった三人の事、そして事故の事を忘れたいためにも、この体育着を大切にしたいと思っております。

フレックスコース

この度は新体育着をいただき本当にありがとうございます。私達は、亡くなった三人の人の事はよくわかりませんが、同じ学校に通う生徒として他人事とは決して思われません。亡くなった三人の事、そして事故の事を忘れたいためにも、この体育着を大切にしたいと思っております。

学校法人仙台育英学園 創立一〇〇周年記念事業等 募金にご協力をお願いします。

本学園は、平成十七年(二〇〇五年)に創立一〇〇周年を迎え、お陰様で「二世紀にわたる個性尊重教育による有為な人材育成」に寄与した功績により、今春、河北文化賞の栄誉に輝きました。

この一〇〇周年を大きな節目として、今後一層の飛躍を期し、新世紀に貢献できる優れた人材育成に努めるべく、父母教師会、同窓会並びに教育振興会のご賛同をいただきながら、創立一〇〇周年記念事業、加藤利吉記念奨学基金を始め教育研究活動の充実・向上を図るための募金活動を行っております。

つきましては、同窓の皆様にもこの趣旨をご理解の上格別のご協力を賜りますようお願いいたします。

◇お問合せ先

〇二一五六一四四 法人局財務部(宮城野校舎・内線二六一・二六一・二六三)

〇寄付金に対する減免税措置

この寄付金は、特定公益増進法人に対する特定寄付金として、減免税措置を受けることが出来ます。

個人 寄付金が五千円を超えた場合、五千円を超える部分(ただし、年間所得の三十%以下)については、その年の所得から控除されます。

法人 日本私立学校振興・共済事業団の「受託者指定寄付金」制度をご利用いただけます。

法人税法上、全額が損金に算入出来ます。

(お知合いの法人経営者にお知らせください)

